



北信五岳の麓に広がる飯綱町を、平出上空からHUP (ハップ) のみなさんがドローンで撮影しました。
6ページをご覧ください。

担当 高橋 弘之

特集 小さな町の みんなのお祭り

主な掲載記事

- 小さな町のみんなのお祭り 2~5
- おじゃまします・あっちこっちこの町 6
- いっつな時空散歩・ど〜こだ!? 7
- 公民館ダイアリー・掲示板など 8~10
- アルバムからこんにちは・さんぽ道 11
- 二十歳を祝う会 12

「ど〜こだ!?」では、答えを募集しています！ぜひ、ご応募ください!!



実行委員のみなさん（左から）加藤さん、小林さん、山田さん、西澤さん

小さな町みんなのお祭り

今まで行われていた岩崎観音四万八千日のお祭りが、3年前から名前が変更され、
牟礼駅前夏祭りになり、今年は8月11日（山の日）に開催されました。

新体制になった実行委員の熱い思いを取材しました。

編集委員 速水 克明、仲俣 茜、宮澤 千秋



事前インタビューのようす

そもそもどうしてお祭りは始まったのでしょうか。諸説ありますが、一つは地域、四季それぞれに魅力あふれる日本、日本人は「やおよろずの神」と言って、すべてに神が宿ると信じてきました。自然と神様に感謝し、生きることが喜び、コミュニティを育てるために行ってきたのが日本のお祭りだと言われています。最近では、神様とは関係なく、地域おこしのためのもや、雪まつりや桜まつりな

え切れないほどのお祭りがあります。その中で最も有名な日本3大祭りは、祇園祭、天神祭、神田祭です。来場者数の多いお祭りでは180万人を超える、なんてこともあるそうです。今回は小さな町のみんなのお祭りを覗いてみました。

コロナ禍を挟み、第3回目の開催となった牟礼駅前夏祭り。盛況だったお祭りには実行委員会のみなさんの思いが込められていました。

どの季節のお祭り、将軍や武士などに着飾った時代まつり、海外の由来のお祭りなども行われています。これらも、文化を尊重し、季節に感謝し、人々を繋ぐために、お祭りには欠かせないものになってきていると思います。このように、日本全国には数

事前インタビュー とにかく子どもたちが 喜ぶお祭りに

夏祭りの1カ月前、実行委員会の山田保和さん（飯綱町観光協会会長）、西澤美行さん（飯綱町観光協会事務局長）、加藤貴彰さん（飯綱町観光協会理事）、小林直樹さんにお話を伺いました。

今年の夏祭りについて、「夏の一大イベントとして、規模をできるだけ大きくやりたい。そして来年以降に繋がりたい」と語ってくださいました。

「去年から大きく変わった点は、駅前の駐車場を借り切って会場にしたことです。みつどんぬり絵コーナーや射的、福引など子どもが楽しめるブースを設け、飲食も充実させました。また、お祭りを一体的に楽しめるようにとステージを設置し、地元の飯綱権現太鼓、太極舞などの披露や県内で活動しているタレントさんによるパフォーマンスを企画しました」。

今回のお祭りのために、実行委員会ではポイントを取り、ステージへの出演依頼に出向いたり、近隣のお祭りに足を

運び、参考にできそうな部分を取り入れられたそうです。そこには「とにかく子どもたちに喜んでもらいたい」「今年が勝負」という熱い思いがありました。

「町のお祭り」として どんどん大きく

来年以降、会場に櫓を立てての盆踊りや、スターマインなど豪華な花火ができればいいというお話でした。また、牟礼駅周辺の環境の整備が進めば空間的にも規模を大きくできるということで、まだまだ可能性を感じました。

実績を作り、「何かをした人に関わりたい人が広範囲から集まり、最終的に（町の

お祭り）にしたい」「町全体で楽しめるものになりたい」「北しなの線とタイアップして企画をしたり、近隣市町村と関係を密にしたりして広域を巻き込んでいきたい」。今後の抱負をそのように語ってくださいました。

資金の問題、会場準備をする人員の不足や高齢化などにより、若い層に負担がかかるとの懸念から、一時はお祭りをやめようかとまで思い悩まれたそうです。しかし、駅前商店会と観光協会が結びついたことで分業ができるようになったり人の繋がりが増えたりし、廃止は免れたうえ今後の展望が広がったとのことでした。



当日、威勢よく担がれたおみこし

当日レポート

心配されていた台風の影響もなく、暑い日差しの中、第3回牟礼駅前夏祭りが開催されました。16時の開始前から牟礼駅ロータリーにはキッチンカーが並び次々と人が集まりはじめていました。さっそく駅前から「ムーちゃん探検隊」に参加する子どもたちが駅長に扮したスタッフから説明を受けて、スタンプラリーに出発していきました。途中のポイントでクイズに答えながら終点の岩崎観音を目指します。ゴールでスタッフが水

ヨーヨー釣りや景品のお菓子をを用意して待っています。今年は親子での参加が多いようでした。駅から鳥居川沿い、木漏れ日の小道を楽しむように歩く子どもたちの姿が見られました。

メイン広場では射的や金魚すくいといった懐かしいお祭り風景の中、「プラレールコーナー」(「みつどんぬり絵コーナー」)など幼児も安全に遊べるブースがあり小さい子ども連れの方々に好評でした。



むーちゃん探検隊「しゅっぱ〜つ」

広場の舞台では太極舞、タヒチアンダンス、小学校ダンスチームと数々の発表に続き、佐久長聖高校のアイドルグループ「7限目のフルール」(「ナナフル」)のパフォーマンスもあり、盛り上がりを見せていました。お祭り大詰め(飯綱権現太鼓)の演奏は迫力ある力強い音を会場に響き渡らせ

ました。そしてお祭りの終わりに、星空に花火が上がると子どもたちの歓声が聞こえました。幼い子ども連れで来ていた方にお祭りの感想を伺うと、「初めて2歳の子とも一緒にお祭りに来ました。自分も子ども頃、夏祭りが楽しみでしたので、これから子どもたちの楽しい思い出になるようなお祭りが続いてほしいです」と話され



スタンプラリーをしながら無事にゴールできました



みんなでつなげてつなげて「楽しいねプラレール」



親子で射的「当たるかな？」

ていました。子どもたちが大好きなお祭りとして、牟礼駅前夏祭りが年々パワーアップし夏の一大イベントとなってゆけばいいなと思います。

小さな町のみんなのお祭りは、今までのやり方では継続が困難と懸念される中、どうやって存続することができているかが課題となっています。経済的な援助、祭りを支える地域、ボランティアなどの力を合わせ地域の子どもたちに少しでも心に残る、楽しいイベントを残したいと思います。新しいものと古き良き伝統が融合して、新たな形のお祭りが動こうとしている今、お祭りを運営していた実行委員、出店者、演者、そして参加者、それぞれが楽しそうな表情をしていたのが印象的でした。



リニューアルされたちようちん

お祭りギャラリー



おじゃま
します

ドローンを活用した まちづくりに貢献した HUP(ハップ)のみなさん

表紙の写真を撮影したHUPのメンバーにインタビューをしました。

HUPは北信無人航空機プロジェクト(Hokushin Unmanned Aerial Vehicle Project)の略で、無人航空機(ドローン)を活用した防災・災害活動、遭難者・人命救助、ドロー



どこだか分かりますか?倉井から福井団地を望む景色です



HUPのサイト
はこちらから

ンパイロットの育成事業を行い、災害に強い「まちづくり」と事故防止等の活用や、ドローンの普及、地域の活性化、観光・地場産業の振興に寄与する目的で発足しました。

事の起りは2020年、飯綱町の集落創生事業でした。当時の普光寺中部組長帯刀勲さんは「前年に中部組の写真集を製作することとなり、古い写真はたくさん集まっていますが、今の写真をどうするか検討する中で、ドローンを使って上空から撮影するのはどうかという提案がありました。それだけでは弱いので、『中部組のための鳥獣対策・災害協力・火災予防』などに活用する方針で組の総会で承認いただき、ドローンを購入することができました」と話してくれました。

中部組には以前から個人的にドローンを活用している方がいました。中村徹也さんは「数年前から5センチ角のミニドローンを飛ばしていました。ミニドローンは風に煽られると落ちてしまいます。善光寺の境内で落下したりイメージが悪かったです。自分の田んぼで細々と飛ばしていました。しかし、首都圏で開催される展示会見学や講習会受講で研鑽を積んで本格的なドローンを購入した

ところ。今回の話があったので参加しました」とのことでした。



新事業に燃えるHUPのみなさん

HUPのWebサイトを担当している帯刀英二さんは「現在会員7名で活動しています。令和4年7月には長雨で普光寺用水の法面が崩落しました。迅速にドローンで撮影し、県議会議員や町長に報告し、空撮映像でアピールできたせいか、昨年のうちに改修していただきました。現在は『特定飛行限定解除』取得に向けて、みんなで猛勉強中です。これを見ながらの目視外飛行ができるようになります。また、町から災害時における応援協定の申し入れがあり、9月3日に協定書締結の運びとなっています。ドローンは飛行体であり、事故リスクがありますので、機体の保険と損害賠償保険に加入して万全を期しています。年間数万円の出費は大変ですが前向きに取り組んでいます」と、熱く語ってくれました。

現在は任意団体ですが、一般社団法人化に向け進行中とのこと。関心のある方は公民館事務局までご連絡ください。(高橋弘之)



タイトル/近藤 理香

No.70 会いに行ける!? アーティスト (平出)

飯綱町在住のアーティスト、モヒ監さん。【THE RAPID】というバンドでボーカル兼ギターを担当しています。

約20年前からバンド活動を始めて紆余曲折あり、THE RAPIDになってからは約10年になるそうです。

当時流行り始めたJapaneseパンクじゃ物足りなさを感じ、「自分で好きな曲を作ろう!」と思い立ち、バンド仲間を



THE RAPID

探して今では【バンド】がない自分は想像できないほどバンド活動が楽しく、かけがえのない存在になっています。

多才なモヒ監さん、多くの曲は自分で作詞作曲をし、自分の生きている世界と自分の中の世界を歌詞にしていることが多く、「(自分の) 妄想なんです」と熱い思いが伝わります。

来月は県内外で6回のライブを開催予定と活動範囲は全国区、多くの人に届けるために飯綱町出身を売りに精力的に活動中です。

また、ミニアルバム「new friends」も絶賛配信中!

(正村)



THE RAPIDの
サイトはこちらから

いづな時空散歩

Vol.21

一級河川 八蛇川



丘陵を切り割る八蛇川の谷(白矢印)、手前は袖之山の集落

一級河川の八蛇川は恐ろしい川の名ですが、牟礼地区にとつての恵みの川です。名の由来には「大蛇伝説」や「夜叉(鬼)」のように荒れる」など諸説あります。飯縄山と靈仙寺山の間は扇平という吊尾根状の稜線があります。その直下から湧き出す水が滝ノ沢の滝

(扇要瀑布)となり、東麓に直線的に流下し、牟礼本町の東で鳥居川に注ぎます。延長約9kmの八蛇川は、鳥居川最大の支流です。

滝からはじまる八蛇川ですが、平坦な飯綱東高原をゆるやかに流れた後、高岡地区の丘陵を深く掘り込み、高坂地区の北で再び平坦な牟礼盆地に入ります。東高原と牟礼盆地では、岸から川底までの深さが数m前後の浅い川ですが、途中の高岡丘陵では、両岸から川底までの深さが100mにも及びます。ザックリと丘陵を切り割る谷地形は鬼の仕業のようにも見えますが、鬼の正体を探っていくと十数万年前から現在につづく地殻変動が見えてきます。

八蛇川は、盆地に入り前川と裏川の二筋に分かれますが、地蔵久保から流下する成合川が前川に合流した後、野村上の東で再び一本の八蛇川に戻ります。八蛇川は数多くの用水に利用されています。最下流の東黒川区には350年以上前にはすでに引かれていたと考えられる用水があり、八蛇川右岸にある上堰、中堰、下堰の三堰は、今も地区の生命線とされています。

(いづな歴史ふれあい館長 富樫均)

シリーズ人権めぐりがい

107

「秋ナスは嫁に食わずな」秋風が吹き始めるとナスもおいしくなってくる。こんなとき頭に浮かんでくる、ことわざだ。こんなにおいしいものを憎い嫁に食わせてはもったいない、という意味とも考えられているが、実は、

「大切なこととは」

秋ナスはあくが強く、嫁の身体にさわってはいけないから、という説も古くからあり、私は、後者の解釈であると信じている。人を大切にすると、という人権尊重の精神が根底にあるに違いない。

11年前のロンドンオリンピック予選で、イラン代表女子チームが、戦う前に出場禁止となったため、戦えなかったことで唇を震わせている姿をこ

存知だろうか。問題はユニフォームだった。イスラム教の戒律があり、公共の場で女性は肌を出すことが禁じられている。彼女たちは、長袖、長ズボンにタートルネックでフードを被っていた。どこが問題なのか。サッカーの競技規則に、「競技者は、自分自身または他の競技者に危険な用具を用いたり、あるいは、その他の物を身につけてはならない」とある。これについて、「イスラム教への偏見だ」、あるいは「女性の国際社会進出を奪った」との意見もでていた。差別をなくしていこうという国際社会の潮流の中で、連盟の判断の根底に人種、性別、種族的出身、宗教、性的指向、その他いかなる差別を認めないというものがある。宗教上のこともあって異論が噴出しそうなユニフォーム問題を先に提示し、その上で双方で話し合い、互いの意見を交わしながら決定しておくことはできなかったのか?大切なこととは、何か。

(人権教育推進委員 庄村道男)

106号「ど〜こだ!?」答え

茶磨山の馬鋏石(まんが石)です。(野村上)

■下のQRコードを読み取ると106号の答えの位置図が表示されます。



正解した方の中から抽選で5名様にみつどんグッズをプレゼントします。皆様のご応募お待ちしております。

応募様式 お好きな様式に、お名前・ご住所・電話番号・答え・公民館報の感想をご記入ください。

応募先 〒389-1211飯綱町大字牟礼1989
飯綱町民会館内館報編集室
TEL:253-6560 FAX:253-6670
E-mail:gakushu@town.iizuna.nagano.jp

応募締切 10月31日(火)

抽選結果 プレゼント発送をもって当選とします。
※なお、お電話での受付は行っておりません。

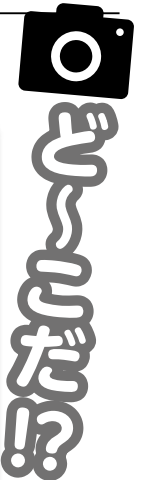
これは、どこから撮った写真でしょう。

ヒント 今が見頃! みなさんよくご存じの〇〇〇〇の花壇です。



答えも募集します!

Photo 大塚 幸枝



各競技対戦結果

- ◎キックベースボール
 - Aブロック
 - 優勝 袖之山
 - 準優勝 栄町
 - 3位 西黒川2
 - Bブロック
 - 優勝 東黒川
 - 準優勝 野村上
 - 3位 西黒川1
 - Cブロック
 - 優勝 小玉
 - 準優勝 平出
 - 3位 坂上
 - Dブロック
 - 優勝 芋川
 - 準優勝 普光寺
 - 3位 牟礼
 - 4位 四ツ屋
- ◎ニチレクボール
 - Aブロック
 - 優勝 普光寺
 - 準優勝 倉井2
 - 3位 古町
 - 4位 西黒川
 - Bブロック
 - 優勝 栄町
 - 準優勝 袖之山
 - 3位 四ツ屋
 - 4位 倉井1
- ◎ゲートボール
 - Aブロック
 - 優勝 夏川
 - 準優勝 小玉1
 - 3位 芋川
 - 4位 平出
 - Bブロック
 - 優勝 栄町
 - 準優勝 牟礼
 - 3位 福井団地
 - 4位 小玉2
 - Cブロック
 - 優勝 普光寺
 - 準優勝 中宿
 - 3位 倉井
- ◎ふらばーるバレー
 - Aブロック
 - 優勝 赤東1
 - 準優勝 小玉1
 - 3位 野村上
 - Bブロック
 - 優勝 四ツ屋
 - 準優勝 横手
 - 3位 小玉2
 - Cブロック
 - 優勝 赤東2
 - 準優勝 普光寺
 - 3位 東黒川
 - Dブロック
 - 優勝 倉井
 - 準優勝 福井
 - 3位 古町

第15回町民球技大会開催

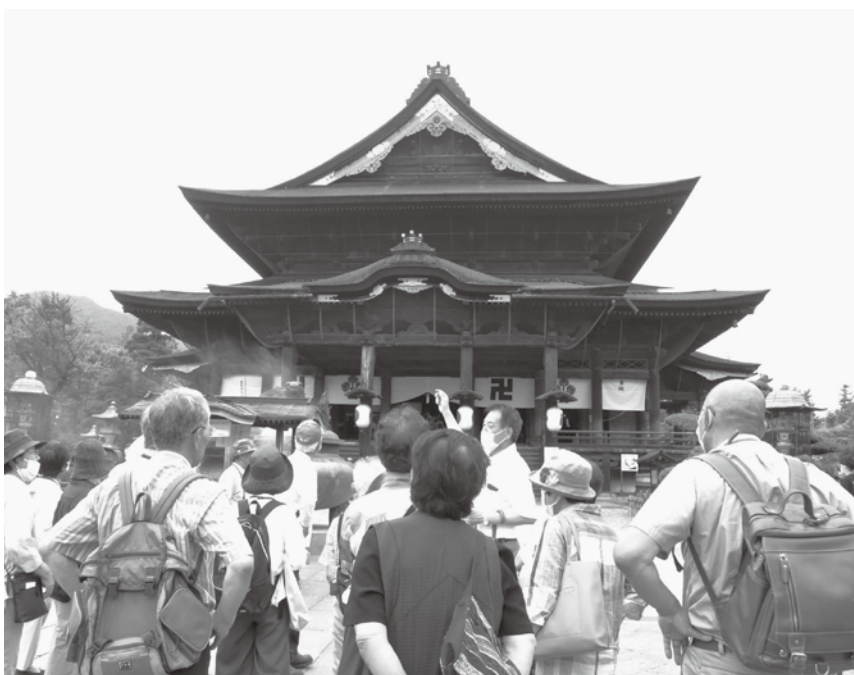
7月2日(日)、第15回町民球技大会が開催されました。天候にも恵まれた快晴の中、キックベース、ニチレクボール、マレットゴルフ、ふらばーるバレーボール、ゲートボールの5種目が行われ、それぞれ手に汗握る白熱した試合が繰り広げられました。



いづな大学 研修旅行を開催(7月5日)

いづな大学では、4年振りとなる日帰りの研修旅行を受講生18名の参加により行いました。初めに訪れた、千曲市の県立歴史館では、企画展「主張する古墳」と常設展を観覧しました。企画展では出土品などを見ながら長野県の古墳時代がどのようなものだったかを解説いただきました。お隣の森將軍塚古墳館では竪穴式石室の模型などを見学してから、実際に森將軍塚古墳に登りました。全長約100mの大きな古墳に驚きつつ、真剣にガイドさんの説明を聞いていました。

昼食には善光寺の宿坊、兄部坊にて精進料理を食べ、その後は善光寺の境内をご案内いただきながら周り、お戒壇巡りも行いました。研修旅行最後は自由時間になり各々、仲見世を巡りました。近場の見学場所を過ごした一日は、日常の慌ただしさから解放され楽しいひとときとなりました。



■ いびづな大学公開講座、音楽鑑賞会開催のお知らせ

いびづな大学では、音楽鑑賞会「瀬名ひとみ歌謡ショーとジャズの魅力」を開催します。

出演者は演歌歌手の「瀬名ひとみさん」と「久遠峯志&万年青春 (MOTOHARU) バンド」の皆さんです。

入場は無料で、いびづな大学を受講されていない方でも鑑賞できます。この機会にぜひお越しください。

日時 9月6日(水) 午前10時から11時50分まで

場所 飯綱町民会館ホール

問合せ 飯綱町公民館 TEL253-6560

■ 第12回町民運動会開催

10月22日(日)、ふれあいパーク運動場で、第12回町民運動会を開催します。実行委員会では、皆が楽しめるプログラムを計画しています。スポーツの秋。ぜひ参加して一緒に盛り上がりましょう！

■ 第9回飯綱町小学生駅伝競走大会開催

今年度も飯綱町小学生駅伝競走大会を開催します。現在、参加チームを募集しております。

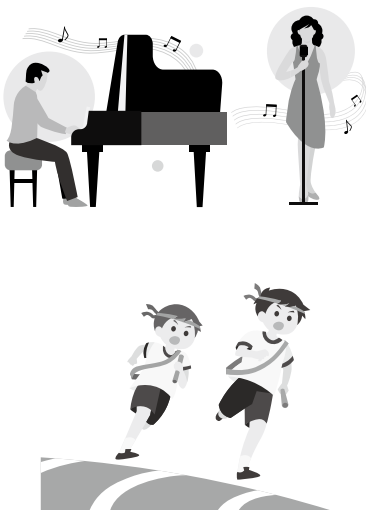
日程 11月3日(金・祝)

場所 飯綱町民会館周辺

その他 選手6名、補欠2名の8名以内でチームを作り、10月6日(金)までに飯綱町三水B&G海洋センターまでお申し込みください。

みください。

問合せ 飯綱町三水B&G海洋センター TEL253-8951



中学校図書館新着本

- 百年の子 古内一絵
- 鷹の惑い 堂場瞬一
- ウエテルタウンでやすらかに 西尾維新
- 私はスカーレット 林真理子
- わが手の太陽 石田夏穂
- 天災ものがたり 門井慶喜
- 教室のゴルドロックゾーン ござわたまこ
- リスpekt ブレディみかこ
- サクラサク、サクラチル 辻堂ゆめ
- 入り江の幻影 辺見庸
- 青瓜不動 宮部みゆき
- 限界国家 榎 周平
- 心臓の王国 竹宮ゆゆこ
- 失われたものたちの本 ジョン・コナリー
- 私たちの世代は 瀬尾まいこ
- 地球からの警告 山下和之
- 一流の人間力 井上裕之
- 計算力を強くする 鍵本 聡
- 1年で億り人になる 戸塚真由子
- あなたの日本語だいじょうぶ? 金田一秀穂
- いま本気で考えるための日本の防衛問題入門 小野圭司

公民館図書新着本

■ 一般図書

★大人の雑学大全

話題の達人倶楽部 編



- こぼれ桜 梶よう子
- プレデター あさのあつこ
- キッチン・セラピー 宇野 碧
- 可燃物 米澤穂信
- 貸本屋おせん 高瀬乃一
- 亀甲獣骨 山本一力
- 縁切り上等 新川帆立
- 極楽征夷大將軍 垣根涼介
- 八月の御所グラウンド 万城目学
- どうせ死ぬんだから 和田秀樹
- ニーチェ 自分を愛するため の言葉 齋藤 孝
- いまなら間に合うデジタルの常識 岡嶋裕史
- 買い負ける日本 坂口孝則
- 「発達障害」と間違われる子どもたち 成田奈緒子
- やる気1%ごはん まるみキッチン
- 児童図書・絵本
 - 彗星とさいごの竜 今井恭子
 - いつかの約束 山本悦子
 - ぼくが選ぶぼくのいる場所 吉富多美
 - かげふみ 朽木 祥
 - しゅつどう! かがくしょうぼうたい
 - みずたまのチワワ
 - ぱんですよ
 - じめんのしたはマンモスのく

「平出神社」奉額

原田さん(平出)



社額を囲む約60名の関係者

今から85年前の昭和13年、平出神社前での1枚です。「平出神社」と書かれた社額が、神社へ奉納された際、記念撮影したものと思われ、写真提供者のおじいさんの代に撮影されたものですが、正装した関係者約60名が集まり、一大イベントであったことが想像されます。

9月は町内各地で秋祭りが開催される時期となります。各神社にあるこのような額を改めて眺めてみてはいかがでしょうか。

(木賀田)

「俳句」

(飯網俳友会)

裏木戸に来て鳴く蟬の愛らしき

東 奈々子

山頂へ灯る行列夏の富士

清澤今朝勝

三年の癒し声援夏祭り

高野 修

朝まだき雲海底の県都かな

龍野 由子

平和なる雲海遙か鮮やかに

寺島美恵子

夕間暮れシヤキツと畑作夏の雨

中島 良秋

夏場所や髪の流れに大歓声

仲俣 一重

緑陰や学生街の楽器店

日野 秀静

洗ひ髪指の間を風通る

前野 泉

置き去りし柱の穴に羽蟻かな

田宮 秀英

「短歌」

巢立ち終え立派に育ち「つばめさん」

猛暑の空、飛び立ち行きぬ

金井 幸江

ぶつぷりと賀状途絶えし教え子の

その後を思い月日重ねる

坂井 寿男

青じそのパワーを感じ元氣出す

今日は奮発手巻き寿司にと

武田タツ子

向日葵を切り花にして直売へ

ヒペリカム添え元氣よ届けと

町田智頭子

道 ほ 人 た

飯網町に移住して、3回目の夏でした。夏、特に8月は戦争について触れる機会が増えますね。少し前に家でテレビをつけていたら、4歳の息子に「ママ、これなに?」と聞かれまし

た。テレビに映っていたのは、戦車で走っている様子。息子は重機や消防車などの「はたらく車」が好きで、その延長で戦車にも興味津々の様子。「えっと、それは…」

私は言葉に詰まってしまいました。戦車がなんのための車か。子どもに「人を叩いちやダメだよ」「物は大切にね」

(入口梓)

二十歳を祝う会 【8月15日 飯綱中学校講堂】

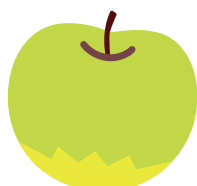
飯綱町では今年、81人が二十歳を迎えました。このうち58人が晴れ姿で懐かしの学び舎に集い、新たな門出を祝福。久しぶりの再会を喜び、思い出話に花を咲かせる姿が見られました。また、小・中学校時代の恩師から寄せられたビデオレターが上映されると、メッセージを真剣な面持ちで聞いたり、恥ずかしそうに笑い合ったりと、会場は和気あいあいとした雰囲気になっていました。



新成人を代表して「二十歳の誓いの言葉」を披露した外谷匠望さん。家族や友人、恩師、地域の方々への感謝を口にすると同時に「常に広い視野を持ち、さまざまな角度から物事を考え、自らの行動に責任を持てる大人になるため、一歩ずつ前に進んでいこうと思います」と誓いました。



2003（平成15）年4月2日～2004（平成16）年4月1日に生まれた新成人の皆さん。この年、日本では、新型肺炎（SARS）が大流行、六本木ヒルズがグランドオープン、自衛隊のイラク派遣開始などの出来事があり、飯綱町では、丹霞郷命名70周年記念で現地に石の彫刻「鳥になった少女」を設置。牟礼村で三水村と合併に関する住民意向調査を実施。飯綱浄水場竣工などの出来事がありました。



旧牟礼西小で タイムカプセル開封

二十歳を祝う会の同日、旧牟礼西小学校（現・いいづなコネクTWEST）では、同校出身の新成人によるタイムカプセルの開封が行われました。当時、思い出の品とともに封入した、未来の自分に向けて書いた手紙を披露しました。

